

第 38 回日本エイズ学会学術集会・総会のご案内

テーマ：HIV に関わるすべてのコミュニティをエンパワー、感染症による人々の分断を終結

開催形式：ハイブリッド開催（現地開催＋後日オンデマンド配信）

※オンデマンド配信は一部、対象セッションのみを予定

会 期：＜現 地 開 催＞ 2024 年 11 月 28 日（木）～ 30 日（土）

＜オンデマンド配信＞ 2024 年 12 月 17 日（火）～ 2025 年 1 月 7 日（火）

会 長：岩橋 恒太（特定非営利活動法人 akta 理事長）

会 場：京王プラザホテル（新宿）〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2-2-1

参加登録期間：

（ 事 前 ） 2024 年 8 月 7 日（水）～ 10 月 29 日（火）

（直前・当日）2024 年 11 月 6 日（水）～ 2025 年 1 月 7 日（火）※オンデマンド配信期間終了まで

参加登録の詳細は第 38 回日本エイズ学会学術集会・総会 HP 内の「参加登録」のページをご参照

ください。<https://www.aids38.jp/>

＜プログラム（予定）＞

11 月 28 日（木）

特別シンポジウム

- ・ 3 つの 0 の達成のために—オーストラリアのエイズ予防啓発の現在の活動から、日本のこれからの予防、啓発を考える—

日本性感染症学会と日本エイズ学会の合同シンポジウム

- ・ HIV PrEP とドキシサイクリン PEP

シンポジウム

- ・ HIV とともに生きる人はどこまで強くならなければならないのか？
- ・ 女性の PLHIV の健康を考える
- ・ “生きていたい”を支える支援と社会を目指して—HIV 陽性者の自殺とメンタルヘルスを考える—
- ・ 患者報告アウトカム(PRO)がもたらす新たな医療と社会
- ・ What's Unknown - 足らざるを知る -
- ・ セックスワーカーの多様性と多言語対応を踏まえた予防啓発
- ・ HIV 感染血友病患者における併存疾患や合併症の早期発見と予防的取り組み
- ・ 事例で考える HIV 感染者の包括ケア—HIV 陽性者の高齢化に向けた包括的支援の検討—
(HIV 感染症指導看護師向けアドバンスト研修)
- ・ PLWH の QOL 向上=HIV 専門・認定薬剤師×□ □ に当てはまる「資格」を答えよ—
(HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会)

共催シンポジウム・セミナー：4 セッション、3 ランチョンセミナー

その他：ポジティブ・トークセッション、メモリアルサービス、ワークショップ、一般口演、ポスター発表

11月29日（金）

プレナリーセッション

Speaker: Dr. Nittaya Phanuphak (Institute of HIV Research and Innovation)

会長講演

- ・コミュニティ主導のコンビネーション予防の実装 現状とこれから(仮)

国際シンポジウム

- ・Special Symposium on Community-led Monitoring of HIV services

シンポジウム

- ・Host response vs pathogen escape－宿主応答 vs エスケープ－
- ・日本における PrEP の普及と実装の課題 3 分野から(仮)
- ・欧州エイズ学会（EACS）との共同企画－EACS LIVE! Interactive case-based discussion－

共催シンポジウム・セミナー：5セッション、3 ランチョンセミナー

その他：代議員総会・会員総会・評議員会、受賞講演、ワークショップ、一般口演、ポスター発表

11月30日（土）

特別シンポジウム

- ・ラパトア：各分野の最新情報

シンポジウム

- ・シンポジウム「治療の手引き」（日本エイズ学会認定講習会〔医師・看護師〕）
- ・What has been unveiled－描かれた顔－
- ・時代と共に変化する看護師の役割－普遍的な HIV 看護とは－
- ・PLWH における悪性腫瘍
（日本エイズ学会認定医師講習会）
- ・HIV 感染症患者のサポート形成支援（人的支援）
－長期療養における他者への病名の打ち明け支援について考える－
（日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師教育研修プログラム）

共催シンポジウム・セミナー：2セッション、2 ランチョンセミナー

その他：一般口演

2. 関連イベント

11月30日（土）

市民公開講座

エイズ・性教育再考